

美川自然人クラブ

H・19 夏号 一す

「美川自然人クラブ」は、美川町の清流・湧水のシンボルであるトミヨ（はりんこ）を保護し、美川町の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住み良く快適で明るい地域をつくるために行動することを目的とするボランティア団体です。

4月の終わり頃から、手取川河口にカモメよりもずいぶん小さい白い鳥の姿を見ることが出来ます。この鳥はカモメの仲間の**コアジサシ**という渡り鳥です。

- ※ コアジサシは、赤道を越えてオーストラリアのほうから、はるばる渡ってきます。
- ※ 海岸や大きな川の河口の、砂やじやりの上にくぼみを作って2~3個の卵を産みます。
- ※ 卵は3週間ほどで孵りヒナが生まれます。
- ※ 親鳥は、小魚や水を与えたり夏の日差しから守ったりいろいろ世話をしています。
- ※ ヒナが大きくなった秋、再びオーストラリアのほうに帰っていきます。



なぜコアジサシは減っているの？

☆安心して卵を産んで、育てられる場所が少なくなってきたから。

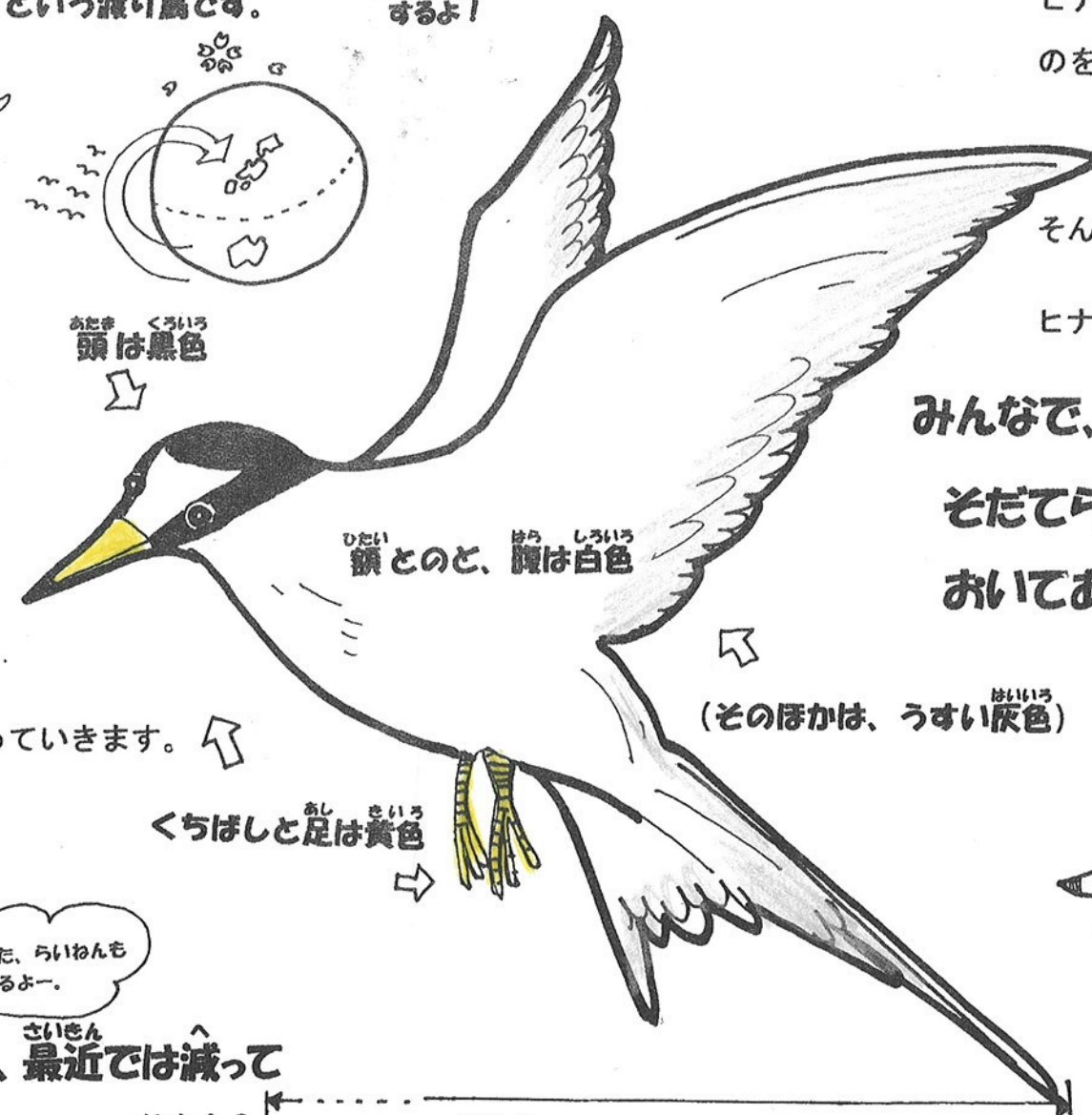
コアジサシの卵やヒナは、カラスやカモメなどの敵か身をまもるため、小石や砂とよくにた色をしていて

石ころと区別が付きにくくなっているんだ。

ヒナは危険を感じると、じっと動かず危険が去るのをまっているよ。

そんな時、人や車が気づかずにふみつぶしてしまいヒナを殺してしまうことがあるんだ。

みんなで、コアジサシが安心して卵を産み、そだてられるよう、巣の近くには行かないでおいであげよう！！



コアジサシは以前にはたくさん見られたようですが、最近では減ってきて、絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険がふえてきている生き物)~レッドリストに指定されています。

体長25cmほど(ツグミやヒヨドリとおなじくらい)

